

## 地域福祉型研修センター構想への取り組み報告【平成 26 年度～28 年度】

## 【平成 26 年度】

- ・「堺あったかぬくもりプラン 3」へ、地域福祉型研修センター機能の検討を位置づけ

## 【平成 27 年度】

- ・地域福祉型研修センター機能に向け、試行的研修として専門職向け研修  
「地域を基盤としたソーシャルワーカーリーダー養成研修」を開催（全 5 日、約 50 名参加）  
＜成果＞市・社協・大学が協働した企画運営／受講生ニーズに応じた柔軟な研修実施／  
受講生の顔が見える関係づくりの構築／研修受講者へのヒアリングによる研修効果の検証

## 【平成 28 年度】

- ・堺市と関西大学の地域連携事業 堺市における「地域福祉型研修センター機能検討事業」調査事業
  - ①研究会の開催（6/29、10/17、1 月）：研修センター機能構築に向けた検討
  - ②学習会の開催（6/29、8/31、12/14）：研修センター機能構築に向けた検討を行うための学習会
  - ③先進地視察の実施 名古屋市社会福祉協議会（8/9）：リーディングモデル事業  
新潟市社会福祉協議会・新潟市（8/10）：地域福祉コーディネーター育成事業  
北星学園大学（9/22～23）：コミュニティワーク実習
- ・堺市における地域福祉型研修センター機能のアウトライン検討
- ・堺市の研修情報集約ポータルサイトの構築に向けた検討
- ・研修受講者へのグループインタビューによる研修効果の検証（半年経過後の効果検証）

堺市における地域福祉型研修センター機能  
【理念・価値・体系・手法】

案

## 理念・価値

共に学ぶ＝共学

共に育む＝共育

- ・主体的に地域福祉を学ぶことのできる機会の創出
- ・地域福祉志向の担い手の養成・支援
- ・地域福祉を自らの問題として考えられる地域づくり
- ・関係機関、地域住民の協働促進
- ・法施行、法改正等、時代にあった求められる研修の開催

## 体系

## ◆リーダー研修

地域福祉の担い手として、すでに活動している人（専門職、地域住民）を対象とした、地域福祉の理論、実践方法を学ぶ研修。専門職・地域住民で協働した課題解決・課題蓄積・資源開発の知識・技術を培う

## ◆基礎研修（啓発研修）

これまで地域活動やボランティアに参画したことのない人を対象とした地域福祉を基礎から学ぶ基礎啓発研修。地域福祉への関心を高め、理解者・協力者の養成・支援を行う

## ◆インフォーマルな学び

地域福祉の特徴である、「多様な講師からの日常的な学び」の場。実際の地域活動への参加による学びを促す

リーダー  
研修基礎研修  
(啓発研修)

インフォーマルな学び

市域  
区域

圏域

校区

町会

## 手法

- ①「分析」：研修対象からの研修における学習ニーズの把握
- ②「設計」：学習ニーズに応える研修プログラムの設計、既存研修等との整合性の調整、必要な位置づけの設定
- ③「開発」：研修プログラムにあった資料作成、ワークショップ方法の開発
- ④「実施」：②③をもとにしながら、柔軟な研修実施
- ⑤「評価」：学習ニーズに対する学習到達度の測定